20　２階の天井の高さは低いです

・下町の民家なので天井の高さは低いです。
・床の間の高さも低くなっています。
・天井の高さを低くすることで建物に使用する材料の量や大工の加工手間が減り、工賃が安く済みます。
・天井が低いと冬に暖房で温める空間が狭くなるので暖房経費が安く済みます。

参考
大正初期の建て方

・民家の写真ではありませんが、
大正時代に桜井木材建築㈱の大工の
お弟子さんが頭領を務め、建物を
建てている様子です。

21　2階の縁の桁

2階の縁の桁の太さ
　３寸８分角
柱の間隔
　12尺及び９尺

・強度がある新潟県産の杉の木材を選別してあります。

・強度の有る新潟県産杉の木材の選別に大切なことは、
　年輪が通っている
　年輪が詰まっていることです。

22　新潟県内の多くの杉の立木は年輪が詰まり強度があります

１回目の主伐：箱材

２回目の主伐：家畜材

３回目の主伐：家の材　と言われています。

・３回目以降に主伐を行う地力のない林地で育つ杉は年輪が詰まります。

・最初の植栽から200年経った地力のない所で育った３代木の杉は年輪が詰まり強度があります。

・冬のべた雪に耐えている新潟県産杉は、３代木と同じレベルの杉の立木が新潟県内の多くの所で見られます。

23　乾伐で含水率を下げることができます

広葉樹が葉を落とす秋～雪前の
10月半ば～12月頭に伐採することで、
含水率を下げることができます。